

令和6年度 入学式式辞

ここ自然豊かな浦河の街にも少しずつ希望に満ちた春の訪れを感じる今日の佳き日に、浦河町長 池田 拓 様をはじめ多数のご来賓の皆様、並びに保護者の皆様のご臨席のもと、令和6年度の入学式を挙行できますことを心より厚くお礼申し上げます。

ただ今、入学を許可いたしました84名の新入生の皆さんご入学おめでとうございます。このようにたくさんの方々に祝福していただける入学式は久しぶりだと思います。本日より、日々努力するとともに楽しむことも忘れずに3年間充実した高校生活となるよう過ごしていきましょう。

私の方より、皆さんに三点お話しいたします。

一点目は、浦河高校の校訓である【自主・敬愛・努力】のもと、高校生活の目標を明確にし、さまざまな力を身に付け、目標を達成して欲しいということです。そのためには、まず物事をよく見て理解し、自ら考え正しく判断し、主体的・協働的に探究し行動すること、自分と他人の人権や生命を敬い尊重する心を持つこと、望ましい自己実現のために常に自分の能力を向上させ、地域づくりに積極的に参加することです。目標はよく「大きく」と言いますが、まずは小さな目標を設定し、地道にコツコツと達成できるよう努力してください。達成する際には、壁にぶつかることがあると思います。その時は、先生、友人、先輩などに相談してください。

二点目は、浦河町や様似町の地域の方々より、多くの支援や応援していただいていることを忘れずに学校生活に励んで欲しいということです。支援や応援されているということは、それだけ皆さんに期待しているということです。本校では、地域の資源や人材を活用した科目が設置されていることや、総合的な探究の時間において地域に関する課題研究を行っています。これらを学ぶことにより、地域の良さ・大切さ・温かさを知るとともに、課題を発見することができます。地方創生という観点からも地域の皆様と一緒に、地域の課題を考え解決すること、そして、地域へ恩返しをする人になってください。

最後は、「目配り・気配り・心配り」の三配りを持って人と接していただきたいということです。人と話す時は目をきちんと見るという目を配り、困っている人に気付いたら声をかけることや手を差し伸べるという気を配り、そして最も大切なことは、心を配ることです。自分自身が弱っていたり悩んだりしている時に、誰かが目や気を配ってくれたり、心を配ってくれたら安心するとともに、勇気付けられます。良き人間関係は助け合うこと、励まし合うことです。他者を敬い、思いやりのある人になってください。

保護者の皆様、改めまして、本日はおめでとうございます。お子様の将来の夢や希望が叶うよう、教育活動を実践していきますのでご理解とご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。子供たちの力は無限大です。その力を最大限に発揮できるよう我々教職員と一緒に頑張っていきましょう。

結びになりますが、新入生の皆さんにおかれましては、自分の将来の夢を達成させるために、なぜ学ぶのか、何をどのように学ぶのかということを深く考え、元気よくやる気を出し、本気になってさまざまなことに挑戦してください。挑戦しても失敗することがあると思います。その失敗が人を成長させます。後ろを振り返るのは一瞬にし、常にもう一歩先へ進んでください。皆さんの今後のご活躍を期待するとともに、ご臨席いただきましたご来賓並びに保護者の皆様のご健勝とご多幸をご祈念し、式辞といたします。